

小木大浦の「みょうが」?



小木大浦の「新屋さん(菊地ハツエさん)」が、お堂の周辺を草刈していたところ、いつも「みょうが」が群生する広場に、顔?とも思えるような珍しい「みょうが」を発見しました。

お堂には、「お大師さん」がお奉りしており、現世に姿を変え現れたのでは...?と噂され、ご利益がありますようにと、福祉センター「つくし」に届けられ、利用者に喜ばれています。(情報提供:小木大浦地区・菊地ハツエさん)

「みょうが」名前の由来は、インドの釈迦の弟子、シュウリハントクは忘れっぽいので有名でした。自分の名前さえも忘れるので、木の札に名前を書き、いつも背負って歩いてたといひます。そんな彼が他界して埋葬された土地に一斉に見知らぬ草が生えました。名前を荷って歩いた彼にちなんで草の名が「茗荷」になったといわれています。茗荷をたべると忘れっぽくなるという故事もここから来ています。が、科学的根拠はないと言われます。

みんなの
広場



このコーナーは皆さまからの写真やイラストのコーナーです。たくさんの投稿をお待ちしています!あて先は下記 編集部「市報みんなの広場係」まで

10月15日(土)午後5時40分、沢根町で高齢者が跳ねられる死亡事故が発生!

10月24日(月)午後6時40分、市野沢で高齢者が跳ねられる死亡事故が発生!

ドライバーのみなさんへ 守ろう! 高齢者

~お年寄り 見たら 減速・思いやり~

佐渡島内の特徴

平成16年中 歩行中の高齢者の死者4人

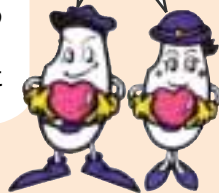
- ・65歳以上の方が被害に遭う事故が多発
- ・夕方に発生
- ・自宅から半径500m以内
- ・横断中に跳ねられる
- ・ほとんどが島内居住者による事故

対策

運転する時は次のことを守りましょう。
ライトを早めに点灯し、歩行者等を早めに見つけましょう。
ライトをこまめに切り替え、前方への意識を集中しましょう。
速度を控えて、突然起こる危険回避に備えましょう。

佐渡市 / 佐渡西・東警察署
佐渡地区・佐渡東部交通安全協会

家族の方は、おじいちゃん、おばあちゃんが出掛ける時、交通安全を呼び掛けてね。



高齢者のみなさんへお願い

~我が人生 輝き続ける いつまでも~

自分に当てはまること、ありませんか?

次の項目に全て当てはまる人は、要注意

- 夜、反射材や懐中電灯を身につけない
- 近所に所用があり、よく出かける
- 遠くに車が見えていても「まだ大丈夫。」と判断し、横断する
- 道路の左側を歩く

平成16年中(県内)歩行中の高齢者の死者67人(前年比+18人 37%増)

対策

あなたの普段の行動が、命取りになりかねません。外出時には、次のことを守りましょう。
暗くなってからの外出はなるべく控え、出かけるときは反射材の着用や懐中電灯を持つ。
慣れた道でも道路を渡る前には、一旦止まって左右の安全を確かめる。
近づいてくる車があるときは、通りすぎるまで待つ。
歩道のないところでは、道路の右側を歩く。

小型動力ポンプ付軽積載車配備
消防団総合整備補助事業により、佐渡市中
央消防団の各分団(佐和田地区八幡 金井地区
大和、真野地区小立)へ、
軽自動車に小型動力ポンプを積載し、4人の団員が乗車できる軽積載車を配備しました。
今回の配備で、迅速な
出動と安全確実な現場
活動が可能となるだけでなく、団員の意識の向上と団結力の更なる強化が期待されます。



両津消防署に高規格救急自動車配備
佐渡市消防本部では、救急救命等の充実強化と高度化を図るため、救急業務高度化資機材緊急整備事業により、市として3台目の最新鋭の高規格救急自動車を両津消防署に配備しました。
この車両は、救急救命士が搭乗し、重症患者に対して高度な救急救命処置を行うことができるよう、従来の資器材のほか、高度救命用の資器材を備えた救急車です。

